



A-PLAT

気候変動適応情報プラットフォーム
CLIMATE CHANGE ADAPTATION INFORMATION PLATFORM



地域気候変動適応センターの 活動推進のための取組

気候変動適応センター設立5周年記念シンポジウム

2023年12月14日



国立環境研究所
気候変動適応センター 肱岡靖明

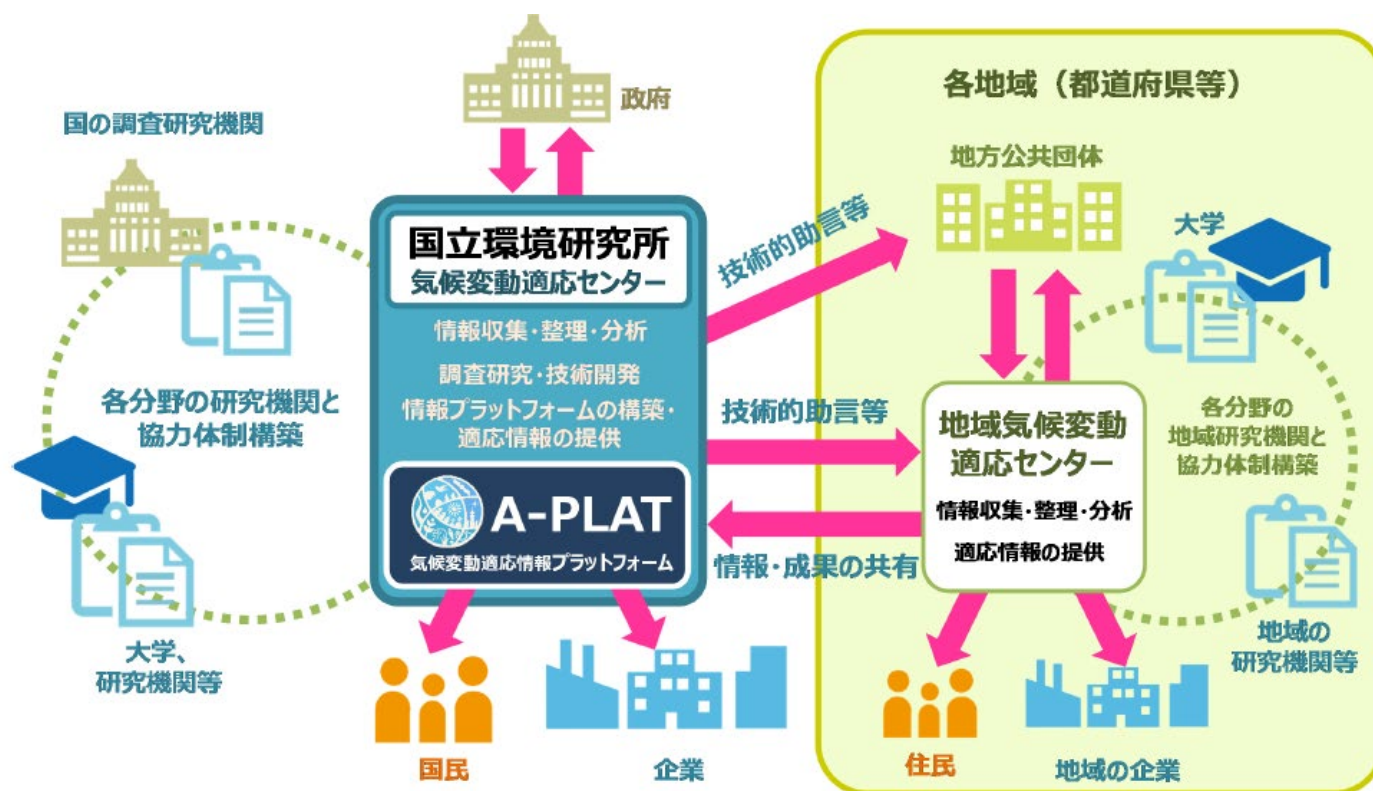
本日のメッセージ

1. 研究 × 支援による適応の推進
2. 地域気候変動適応センターの活動推進のための国立環境研究所の取組
3. 次に実践すべきアクションは？



国立環境研究所気候変動適応センターのミッション

- 気候変動適応センターが中核となり、情報の収集・整理・分析や研究を推進
- 成果の提供や技術的助言を通じて、気候変動適応策の推進に貢献



- ✓ 研究の推進
- ✓ 気候変動影響・適応の情報基盤整備
- ✓ 国際協力の推進

- ✓ 地方公共団体や地域気候変動適応センターへの技術的支援
- ✓ 事業者・個人の適応推進のための支援

気候変動適応センターの概要

目的

気候変動適応センターは、気候変動適応法第11条に規定する気候変動影響及び適応に関する情報の収集、整理、分析、提供、技術的援助及び当該業務を科学的に支援するための調査研究並びにこれに附帯する業務を行う（組織規程第30条より）

気候変動適応 推進室

- 適応推進業務全体の総合調整
- 地方公共団体やLCCACとの協働

気候変動影響 観測研究室

- 気候変動及びその影響の観測・メカニズム解明に関する研究

気候変動影響 評価研究室

- 気候変動影響予測手法の高度化に関する研究

気候変動適応 戦略研究室

- 社会変動を考慮した適応戦略に関する研究

アジア太平洋気候 変動適応研究室

- アジア太平洋地域における気候変動適応に関する研究

人員数（R5.12.1時点）

研究系職員・専任	14
研究系職員・兼務	7
行政系職員・専任	3
特別研究員	13
准特別研究員	2
高度技能専門員	27
リサーチアシスタント	8
アシスタントスタッフ	15
派遣職員	4
参与	1
計	94

気候変動適応センターの「研究×支援」の体制

気候変動適応研究プログラム

PJ1

気候変動影響の**定量評価**と
影響**機構解明**に関する研究

【目標】過去から現在に至る状況変化を解析し、高精度に影響を検出。また、気候変動影響と人為影響の相互作用メカニズム解明

PJ2

気候変動将来**影響評価**手法
の高度化に関する研究

【目標】全球から県・市町村単位まで、開発した気候変動シナリオを用い様々な分野の将来気候変動評価を実施。気候要因とともに社会経済変化も考慮

PJ3

科学的予測に基づく**適応戦略**
策定および実践に関する研究

【目標】複数分野の横断的影響評価に基づく適応経路の解析、将来予測・適応計画・適応策実践の間のギャップ解析

基礎研究・知的基盤整備

●気候変動適応の
体系化

●気候変動影響
データベース

●気候変動影響
将来シナリオ

●気候変動**適応策**
データ集約

●適応計画作成
支援**ツール**

国内外の研究プロジェクト

気候変動適応推進の支援

国内外の研究機関連携

✓ A-PLAT, AP-PLATから広く一般や途上国に科学的知見を提供

✓ 自治体・地域気候変動適応センターへの技術的支援

✓ 事業者・個人の適応推進のための支援

✓ 国際協力の推進

本日のメッセージ

1. 研究 × 支援による適応の推進
2. 地域気候変動適応センターの活動推進のための国立環境研究所の取組
3. 次に実践すべきアクションは？



自治体アンケート結果：
国立環境研究所に期待すること(自由記載)

1. **人材育成**関連(研修、セミナーの開催又は講師派遣等)
2. **普及啓発資料**の提供関連
3. **地域気候変動適応センターの設置及び運営**に関する情報提供(候補、必要な人員・予算・研究等)
4. **科学的知見**の提供(国環研が提供可能な情報、A-PLATに掲載していない分野の情報、市町村レベルでの情報提供等)
5. **事例紹介**(地域気候変動適応計画の策定状況、地方公共団体や事業者による適応策の実施状況等)
6. **研究支援**(国環研と地域気候変動適応センターの共同研究、地域気候変動適応センター間のコーディネート等)
7. **適応策の評価手法**に関する情報提供

5

5年の中で、研修・LCCACへの訪問・問合せ対応などを通じ、具体的な課題や要望を把握し支援メニューを開発



適応策の事例は？

計画策定の進め方は？

適応施策の進捗管理 方法は？

HPを開設するには？

WebGISを活用するには？

学生向けに普及啓発を
行うには？

新任者はまず何から始めればよいか？

地域の活動推進のための国立環境研究所の取組

自治体・LCCACの取組

1. 地域の実情に応じた「計画」を作る

- 地域ごとに地理・気候・文化・社会経済などの状況は様々
- 気候変動の影響や取りうる適応策は変わる



2. 取組促進のため「拠点」を作る

- 地域の影響情報や研究
- 地域資源を活用した適応事例の収集



3. 関係者が一丸となって取組を推進

- 行政，大学・研究機関，地場産業・地元企業の協働による地域特性に応じた適応策の実施

国立環境研究所の取組

<知見の提供>

- ① **A-PLATを通じた情報提供**
(科学的知見・ツール・優良事例など)
- ② **研修・セミナーの開催**
- ③ 問合せ対応，専門家派遣など

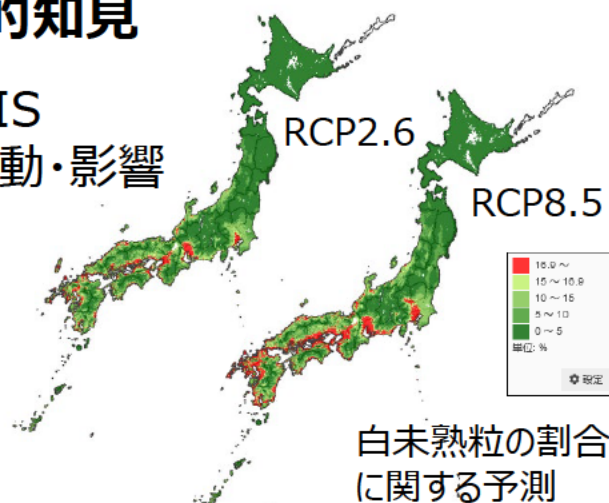
<知見の集約・共有・共創>

- ④ A-PLATへの情報の集約
- ⑤ **LCCACとの協働** (共同研究・普及啓発の実施など)
- ⑥ **LCCAC間のノウハウ共有・交流活性化**
(LCCAC間の意見交換会・勉強会の実施) など

① A-PLATを通じた情報提供

科学的知見

WebGIS
気候変動・影響
情報



専門家による解説・記事



適応策の事例（地域・企業）

適応策DB・インタビュー 企業のリスク管理・適応
ビジネス事例



適応策の体系的な整理

イラストによる解説

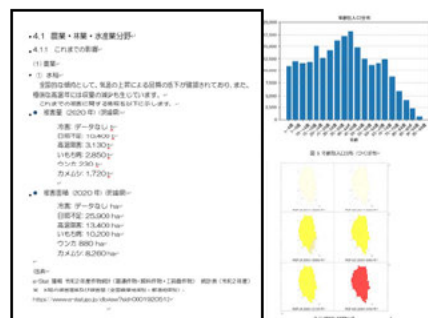


A group of students are gathered around a large table in a classroom, working on a large-scale periodic table of elements. The table is covered with a grid of colored cards, each representing an element. The students are actively engaged, with some pointing at the cards and others writing on them. The classroom environment is visible in the background, showing other students and desks.

[illegible]

オンライン

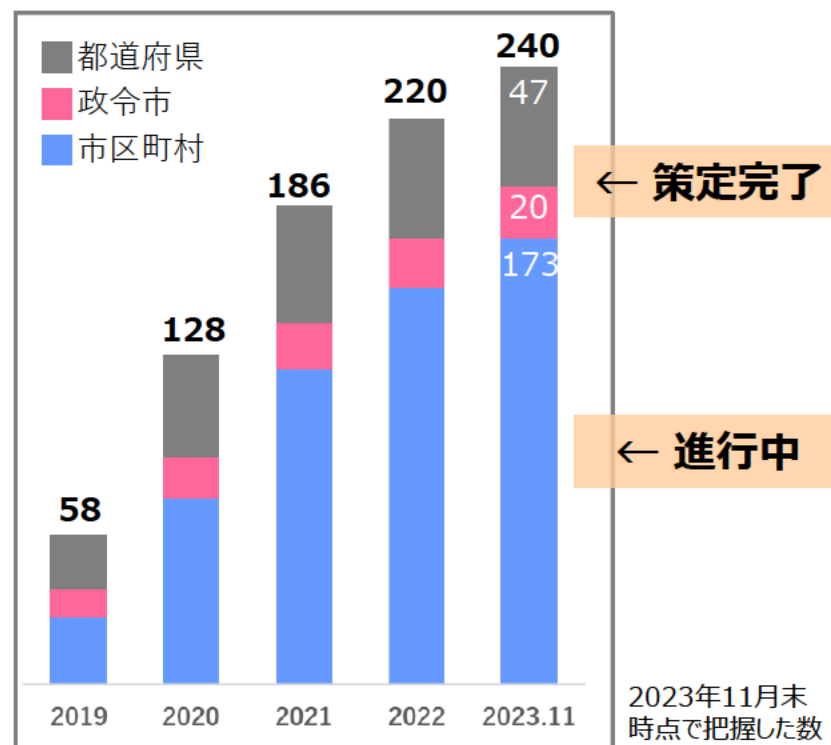
Figure 1 is a screenshot of the APLAT software interface, specifically the 'City Selection' (地域選択) screen. The interface is in Japanese. At the top, there is a header with the APLAT logo and the text 'APLAT 地域選択画面'. Below the header, there is a list of cities and regions for selection, including Hokkaido, Tohoku, Kanto, and others. The list is organized into columns. On the right side, there is a 'City Selection' (地域選択) button. At the bottom, there is a 'City Selection' (地域選択) button and a 'City Selection' (地域選択) button. The APLAT logo is visible in the top left corner, and the eSOL logo is in the bottom right corner.



年度	人数
2018年度	50
2019年度	250
2020年度	550
2021年度	850
2022年度	1150



(参考) 地域気候変動適応計画の策定数



2023年11月末
時点で把握した数

⑤地域気候変動適応センターとの協働

■ 地域気候変動適応センターとの共同研究

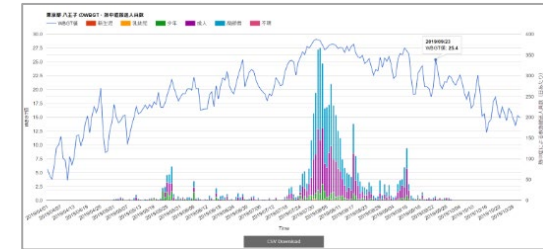
テーマ（のべ29機関）

- 地域の適応に関する情報デザイン
- 暑熱・健康等への影響に関する研究
- モニタリング体制の構築
- 既存インフラとグリーンインフラの統合的活用
- 自然湖沼における影響の観測・評価
- 赤土流出削減指標策定（サンゴ礁生態系）

（例）暑熱健康に係る共同研究（13機関）



暑熱環境に関する
気象学的観測



地域の熱中症救急搬送数
データ収集・分析・将来予測

■ 普及啓発ツールの開発・実践

「ミライ地球ガチャ」@石川県

対象：幼児～小学生

- 「適応」を知る・考える体験型ツール
- 考えやアイデアを書くことで自分事として考える



⑥LCCAC間のノウハウ共有・交流活性化

■ LCCAC意見交換会

- 活動内容や組織運営に関する事例紹介・意見交換
- 地域間のネットワークの構築



■ オンラインでの対話

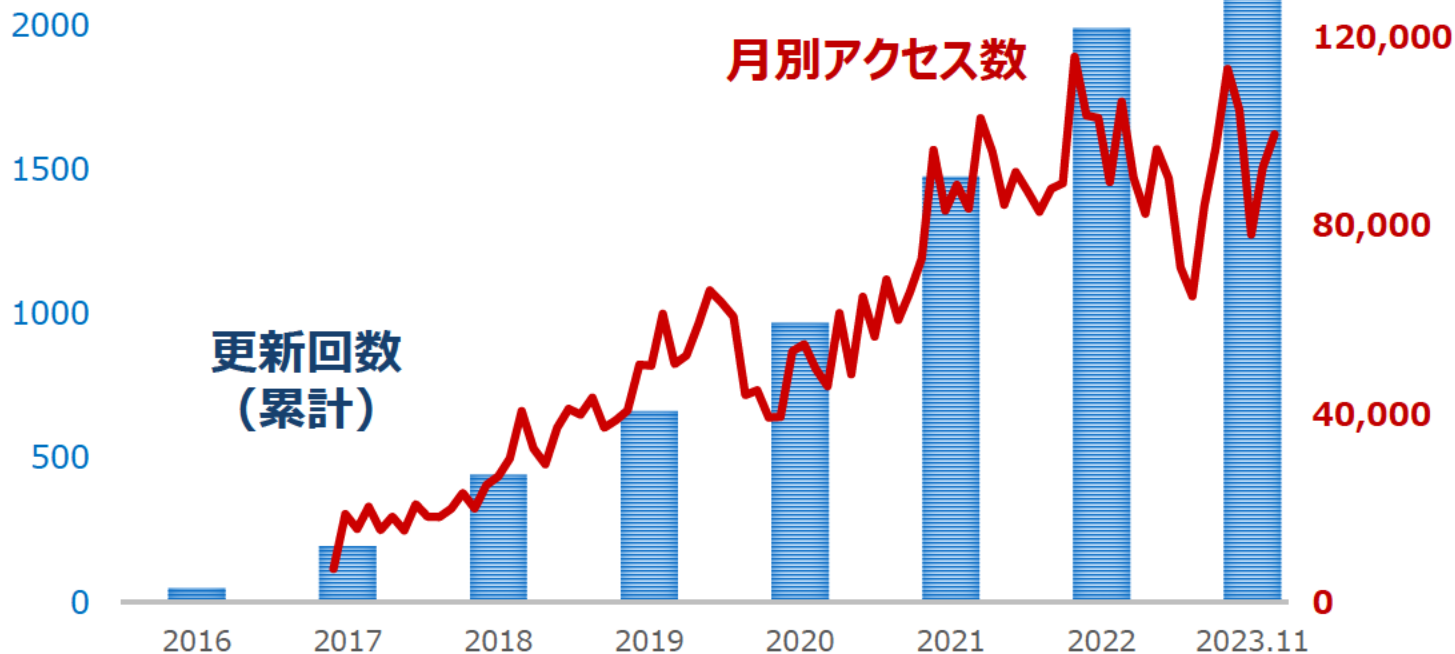


■ 気候変動適応の研究会

- 21の国研究機関とLCCACなどによる対話・共創
- 地域での適応の実践を念頭に連携を模索



A-PLATによる情報発信



参考：地域ごとに特色のある地域気候変動適応センター

信州LCCAC

本庁と公設研究機関の共同設置
⇒この運営体制は他地域に普及

岐阜県LCCAC

本庁・岐阜大学との共同設置
県内公設研究機関との共同研究・普及啓発

那須塩原市 & 川崎市

LCCAC

市で初めての設置

埼玉県LCCAC

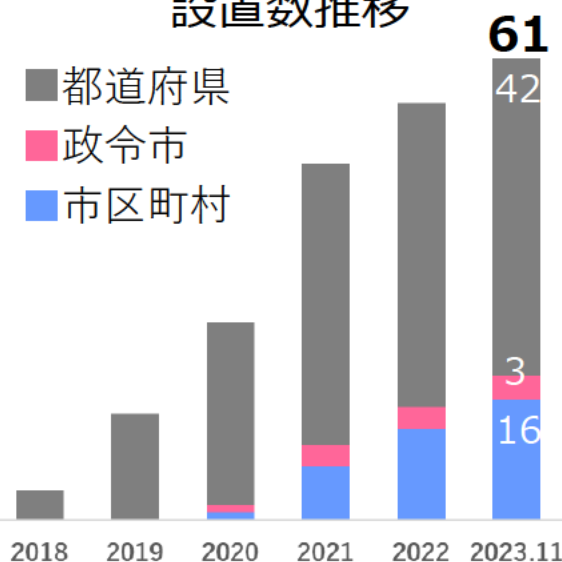
市町村との共同設置を拡大
WBGT設置等を連携

三重県LCCAC

一般財団法人に設置
研究機関の連携を推進

設置数推移

■ 都道府県
■ 政令市
■ 市区町村



※2023年11月時点で把握した数

- 地方公共団体（庁内組織等）単独
- 地方公共団体（庁内組織等）+研究機関等
- 地方環境研究所
- 大学等研究機関
- 民間の機関

次に実践すべきアクションは？



気候変動適応法施行から5年が経ち…

- 地域適応計画は都道府県・政令市で全て策定
- LCCACも概ね都道府県で設置
- 地域間・研究機関間のネットワークも構築

⇒ **地域の適応を推進するための土台ができてきた！**

次は「適応の実装」？

Q.地域の実情にあった適応策を実装していくためにはどのような取組が必要か？

Q.地域のステークホルダーとどのように協力体制を築いていくか？

ご清聴ありがとうございました！



A-PLAT

気候変動適応情報プラットフォーム
CLIMATE CHANGE ADAPTATION INFORMATION PLATFORM



CCCAが運営するX, instagram, Facebook, YouTubeもフォローお願いします！
A-PLAT更新情報, 独自のコンテンツ紹介, 職員の活動内容を随時発信しています。



@APLAT_JP



CCCA



@APLAT.JP



@aplat.jp

気候変動適応
の基礎知識が
学べる！

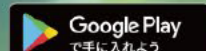
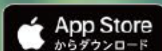


みんなの適応 A-PLAT+

「インタビュー」など
A-PLATの新着情報
も読める！

全国の暑さ指数
がチェックできる！

*暑さ指数は「環境省熱中症予防情報
サイト」にて配信されるデータを使用
しています。



気候変動適応情報スマートフォンアプリ、無料でご利用いただけます！

